

あつたか通信 3月号

～お釈迦さまの願いのおはなし～

今から2500年前。お釈迦様は「釈迦城」というお城のシッタールダというお名前の皇子様としてお生まれになりました。

お城には4つの門がありました。東の門、西の門、南の門、北の門です。ある日、お釈迦様は4つの門を廻られました。

東の門の外はにぎやかでしたが、物の取り合いがありました。

西の門ではこれもにぎやかでしたが、「けんか」の見物人がいます。

南の門では老人が食べ物もなく苦しんでいる姿を見ました。

北の門では「親が死んだ」「子が死んだ」と泣く人々を見ました。

皇子様はそれらを見て、人はなぜ物を分け合えないのか、人はなぜ「けんか」をするのか、人はなぜ老人になるのか、なぜ死ぬのか、疑問をもち尋ねられましたが誰も答えられず、皇子様も考え込んでしまわれました。

その答えを求め、佛さまの教えを受けようとお釈迦様はお城を出てお坊様になられました。

佛さまの教えの修行を重ねて30年がすぎました。

「人は皆平等・・・思いや境遇は違ってもいのちを持つもの同士、分け合い仲よく暮らすことが大切である」ことを佛の教えとして受けられその後、「釈迦」と名前を頂かれました。

人はみな、思いは違っても人は人。みんなが自分の中に「仲よくする力」を持っているのです。この力を出しあい分かちあう関係を作り、たのしいこども園でありたいものです。



ご卒園、ご修了おめでとうございます

2012. 3. 23

はすねだこども園

園長 川田 彰心